

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	結いの虹住之江教室			
○保護者評価実施期間	2025年1月21日 ～ 2025年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年2月6日 ～ 2025年2月6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は本人にわかりやすい構造化され環境になっている	活動エリア（遊び・学習・休憩など）を視覚的にわかるように区分することで、子どもたちがどの場所で何をすべきかを理解しやすくしています。 個別または全体用のタイムスケジュールを掲示し、子どもたちが次に何をするのか予測できるようにします。	生活空間内での移動のしやすさや、混乱や混雑が避けられる配置を定期的に見直す。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている	事業所で行っている療育の内容や方法を家庭でも実践できるように、具体的なアドバイスや支援方法を提案します。	ご家庭で実施した支援のフィードバックを行い、支援方法を常に改善する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	個別療育センターの特性上、各ご家庭の各家庭のニーズや関心を把握し、対応できていないことがあります。	各ご家庭のニーズに合わせたプログラムやテーマを設け参加したくなるような工夫が必要です。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がない	個別療育センターの特性上 1 時間弱の活動時間内での取り入れることが困難。	地域のご家族が参加できる活動を企画します。
3			